

2020年4月7日

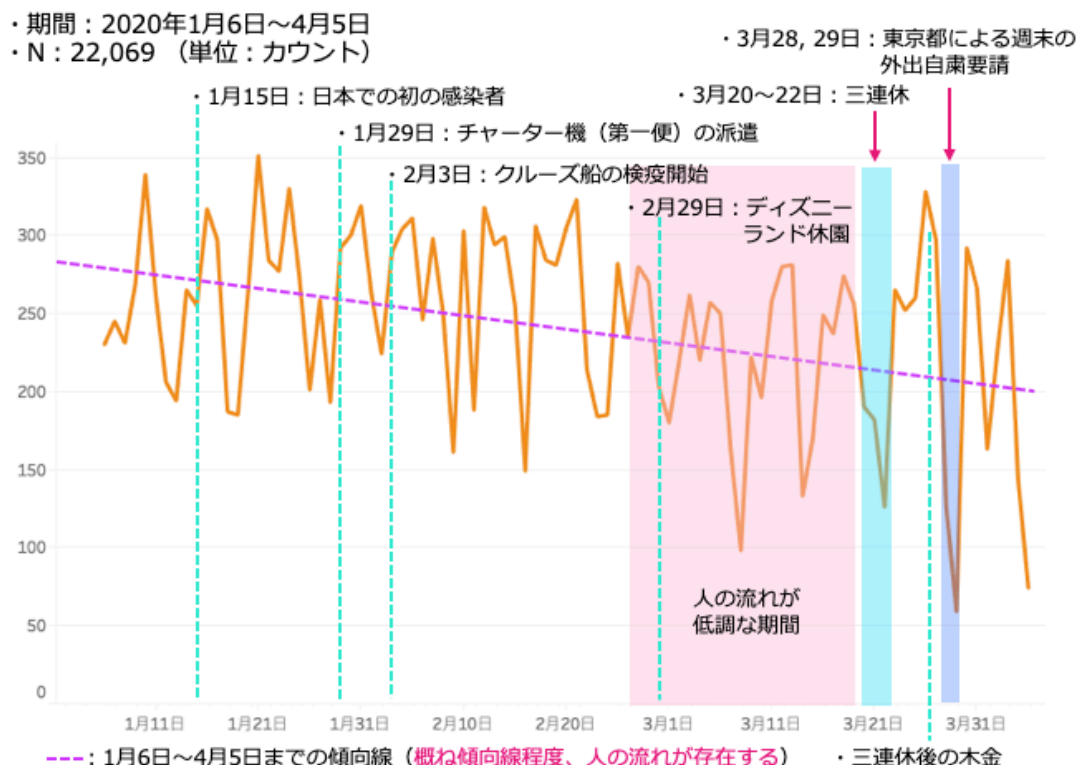
【新型コロナウイルス関連】三連休が“気の緩み”のきっかけに
～三連休当日の人の流れが9.57%増加、三連休明けの平日は10.39%増加～

Oxyzen（オキシゼン）株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役 CEO：松井康至）は、訪日外国人の国や地域・動向分析サービスである「TRAVEL INSIGHTS」（トラベルインサイト）により、東京新宿の西口地域において、新型コロナウイルスによる日本人の動向を調査し、3月の三連休のいわゆる、“気の緩み”により三連休の当日は前週の週末と比較して9.75%の増、三連休後の平日の人の流れも前週の平日比10.39%の増となっていることが分かりました（対象期間：2020年1月6日～2020年4月5日、母数：22,069 カウント）。



■ 1月からの全体の傾向

1月6日から4月5日までの、訪日外国人を除いた日本人の傾向を見てみると、全体としては強い減少傾向にあることが分かります。特に2月末あたりから3月の三連休程度までは低調に推移していましたが、三連休を境にして人の流れが増加に転じました。3月28、29日の東京都による週末の外出自粛要請時には、それに呼応する形で急減していたことが分かります。



<https://travelinsights.jp>

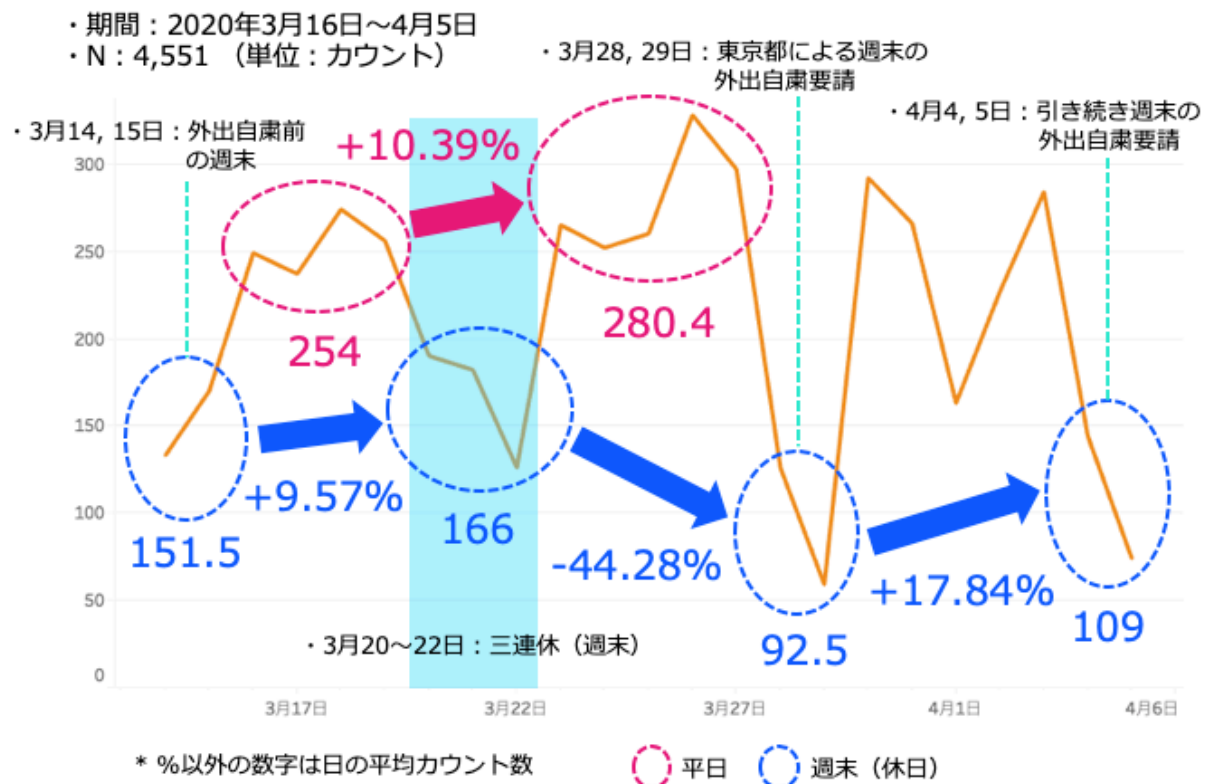
■三連休の“気の緩み”

3月20日（金）～22日（日）までの三連休は、さくらの開花などもあり、外出した人が多かったとの報道がありました。一部ではその行動を“気の緩み”という表現がされていました。では、その“気の緩み”はどの程度のものだったのでしょうか？

三連休当日とその前週の週末とを比較すると、1日の平均のカウント数が9.57%増加していたことが分かります。つまり、三連休ではその前の週の週末よりも約10%多くの人々が西新宿のエリアに外出していました。また、三連休明けの平日では、その前週の平日よりも人の流れが10.39%多くなっていました。つまり、三連休による“気の緩み”は三連休当日だけではなく、むしろその後の平日のほうがより顕著だったことが分かります。

また、三連休の次の週末は、東京都による外出の自粛要請があり、それに呼応して、三連休よりも44.28%の減少となっていました。しかしながら、その次の週末では、外出の自粛要請が引き続きなされたにもかかわらず、前週対比で17.84%の大幅な増加となっていました。つまり、いわゆる“気の緩み”は三連休だけではなく、4月4日、5日の週末にも現れていました。

観光地の人の流れが激減した報道が見受けられますが、新宿西口のビジネスエリアでは、全体として減少傾向にはありますが、人の流れは一定数存在しています。



■TRAVEL INSIGHTS（トラベルインサイト）とは

Oxyzen 株式会社が提供する店舗や施設に IoT センサーを設置するだけで簡単にはじめることのできる、訪日外国人の国や地域・動向分析サービスです。特許取得済みの独自分析テクノロジーにより、31 の国や地域の訪日外国人の動向を分析することができ、国や地域による行動の特性や傾向把握やプロモーション効果測定などのインバウンド対策データとしてご活用いただけます。

【Oxyzen 株式会社 概要】

本 社：東京都新宿区西新宿 3-1-5
新宿嘉泉ビル 3F
設 立：2015 年 3 月 10 日
資本金：103,750,000 円
代表者：松井 康至
URL：https://oxyzen.io/

お問い合わせ先

TEL：03-6370-0771 / FAX：03-6370-0772
E-mail：pr (アット) oxyzen.io

上記以外のお問い合わせ先

<https://oxyzen.io>